

学生からのメッセージ

スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム大会を経験して

林 彩 (福岡歯科大学5年)



以前からアンチエイジングと口腔との関連性に興味があり、愛飲しているコーヒーが口腔内の健康に良い影響があるので？と悶々と考えていた頃、SCRP日本代表選抜大会の募集記事を読みました。短期間でしたが、コーヒーポリフェノールの一種の抗酸化作用について実験を重ね、昨年発表をさせて戴きました。

メディアの世界で仕事をしていた私にとって、生命科学研究は未知の世界であり、新たなチャレンジでした。しかも、容易に結果が出せる事ではなく、発表できる保証もありませんでしたが、先生方にお願ひし、同級生と実験をさせて戴ける事になったのです。右も左も分からない私達にご指導、ご支援し続けてくださり大会まで導いてくださった先生方、お力添え頂いた方々に心から感謝しております。

実験を通して研究という新しい世界を知り、チームと出会い学び合えた事、発表という貴重な経験をさせて戴けた事を幸せに思います。先日CBT・OSCEを終え、私達と同じように研究に興味を持つ後輩メンバーが加わりました。今後ともこの研究を私のライフワークとして続けて行きたいと考えています。

保護者からのメッセージ

父兄会＝子を思う親心

三宅 修司 (父兄後援会評議員)



初めまして。四国ブロックのお世話をさせて頂いております三宅と申します。

北九州市にある九州歯科大学を卒業しましたので、学生時代には博多によくモツ鍋など食べに行っておりました。当時、博多は私にとっての大都会であり、洗練された町並みや人間性、かといって冷たさはなく、どこか人懐っこい博多気質に憧れを感じていたものです。その中であって福岡歯科大学は周りを田園風景に囲まれ、まさに学業のみに専念できる環境であったと記憶しています。ですから最近の周りの景色の激変にはとても驚いております。さて入学以来、地区の父兄会には必ず出席しておりますが、年に一度とはいえ先生方や学務課の方から様々な近況を直に聞けることや、子弟の状況なども伺えるのは非常に有難いことだと思えます。一人の歯科医を育てていくための、いわば親と子の共同作業の架け橋になっていると感じております。今後ともよろしくお願ひいたします。

New Sophia コラム

「無用の用」

人文系科目は国立大学に不要なのではというような議論が昨年とびだしました。人文系学部では大騒ぎになりました。問いを立て探求していても必ず行き止まり「わからない」に突き当たる哲学の営みなどは人文系の中でも不要の最たるものかもしれません。わたしは絵本が好きで研究室でも少々絵本を集めています。絵とシンプルな物語で構成される絵本はメッセージがダイレクトに伝わり独特の魅力があります。しかし絵本が持つ最大の魅力はメッセージ性ではないと思います。例えば、名作と呼ばれる絵本のなかには他愛のないストーリーものがあります。子どもも気に入っているし大人もよい本だと感じるけど何ゆえによいのかはわからない、そういうわからなさが絵本の最大の魅力だとわたし自身は思っております。人生においてわからないことなんてたくさんあります。それらに対して無視を決め込むのでも怯えるのでも居直るのでもなく、わからないという居心地の悪さに耐え真摯に向き合う、そういう態度を学んでもらうのも哲学教育の使命でありましょう。(永嶋哲也)